

機械系教員

研究開発推進課 締切

平成29年7月1日

2017年9月29日

29-96

各自応募
申請書はダウンロード
推薦書要(学部長等)

油空圧等関係研究機関 並びに
油空圧等関係研究者 各位

公益財団法人 油空圧機器技術振興財団

理事長 棚橋 祐治

研究助成金のご案内

時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、当財団では、毎年、油圧・空圧・水圧およびこれらに関連した研究に、1件100万円の助成金を交付しております。昨年度は、18件の申請があり、そのうち7件を採択いたしました。

応募資格は、大学、大学付置研究所、高等専門学校に所属する42歳以下の若手研究者に限られておりますが、教授、准教授、講師、助教等の方々だけでなく、後期課程の大学院生も申請が可能となっております。

上記の研究対象から、助成の対象となる研究者は、機械工学系をはじめ電気電子工学系、ロボット工学系、医工学系等の研究者が含まれると存じます。

お手数をおかけいたしますが、油空圧等関係研究者に当助成金の活用をご紹介いただきたくご案内申し上げます。詳細は、同封の「研究実施者募集要綱」をご参照下さい。

記

1. 応募期間

研究助成金の応募期間は、平成29年9月1日(金)より平成29年10月31日(火)の2ヵ月間です。郵送の場合は、10月31日の消印のあるものについて有効です。

2. 助成対象

助成対象は、同封の「研究実施者募集要綱」の「1. 研究対象技術」に記載のとおりです。当財団HP (<http://zaidan.taiyo-ltd.co.jp>) の「当財団のご案内」の中で概要を図解しています。

3. 助成金額・採択件数

助成金額は、原則として1件100万円とし、29年度は7件程度を採択する予定です。

4. 募集資格

募集資格は、「研究実施者募集要綱」の「2. 応募の資格」に記載のとおり、若手研究者(平成30年3月31日現在 満42歳以下の方)が対象です。

博士後期課程の大学院生でも結構ですが、要件があり、その説明も必要です。(申請書の7. ご参照)

(裏へ続く)

5. 応募方法

応募方法は、「研究実施者募集要綱」にある「研究助成金交付申請書」をご使用下さい。

申請のため、電子媒体が必要な方は、上記要綱をHPからダウンロードして下さい。なお、当財団にメールでご連絡頂ければ、「研究実施者募集要綱」(申請書の様式を含む)のワード様式を返信で送付します。

申請書には、文章の記載だけでなく、説明のための図形・写真を挿入して頂いて結構です。

① 請書(申請者本人)、②交付申請書の表書き、③推薦者の署名捺印のページ(最終頁)は、印が必要ですので、忘れずに捺印して必ず郵送して下さい。

請書の提出は、採択決定の後ではなく申請時の要件となっていますので、交付申請書に同封して下さい。

6. 類似研究

当財団の研究助成金の交付を受けた研究内容と類似の内容とみなされる申請は、原則として認められません。

7. 推薦者

応募に当たっては、大学の場合は学部長等、大学付置研究所の場合は所長等、高等専門学校の場合は校長、もしくはそれに相当する方の推薦が必要です。このため、申請書の最終頁に推薦者の署名捺印をお願いします。なお、署名は自筆でなくとも、押捺でも結構です。

8. 採否の通知

平成30年3月末頃、申請者全員に採択・不採択を通知します。

採択者への助成金は、その所属研究機関に設けられている指定口座に、平成30年4月頃に奨学寄附金として振込みます。

9. 大学院生が採択者の場合

大学院生が採択者の場合は、その大学の指導教員の奨学寄附金口座に奨学寄附金として振込みます。

10. 採択後の報告

採択された場合は、研究期間終了後3カ月以内に研究実施概況報告書(様式は当財団が定めたもの)をご提出頂きます。なお、研究内容の発表・未発表の取り扱い方は、研究者の意向を尊重いたします。

11. その他

本研究助成金事業は、(株)TAIYO及び油研工業(株)からの寄付金をもとに実施しており、返還の必要はありません。

<お問い合わせ先>

〒533-0002

大阪市東淀川区北江口1丁目1-1 (株)TAIYO内

公益財団法人 油空圧機器技術振興財団 専務理事 福崎 文伸

電話・FAX 06(6340)5885

E-mail: zaidan@blue.ocn.ne.jp

URL <http://zaidan.taiyo-ltd.co.jp>

研究実施者募集要綱

公益財団法人 油空圧機器技術振興財団（以下「油空振」という。）は、油圧・空気圧機器及びこれらの機器と周辺機器から構成される駆動システム、並びにこれを補完し、あるいはこれと併用する駆動システムの開発、生産・利用に関する基礎的応用的な技術の調査・研究の援助・助成を行うとともに、我が国及び世界の産業の発展と技術振興に寄与するため、研究等の実施者に所要の研究助成金を交付するものである。

1. 研究対象技術

油空振の研究対象は、次のとおりとする。

- (1) 油圧・空気圧機器及びこれらの機器と周辺機器から構成される駆動システム、並びにこれを補完し、あるいはこれと併用する駆動システムの開発に関する基礎的応用的な技術の研究
- (2) 油圧・空気圧機器及びこれらの機器と周辺機器から構成される駆動システム、並びにこれを補完し、あるいはこれと併用する駆動システムの生産に関する技術の研究
- (3) 油圧・空気圧機器及びこれらの機器と周辺機器から構成される駆動システム、並びにこれを補完し、あるいはこれと併用する駆動システムの利用に関する技術の研究

(補足事項)

- ① 上記の“油圧・空気圧機器”には、水圧、ガス圧をはじめとする流体圧機器を含む。
- ② 上記の“これを補完し、あるいはこれと併用する駆動システム”には、電気駆動システム、機械式駆動システム（歯車、ベルトなど）、機能性材料を利用する駆動システムなども含む。

2. 応募の資格

次の①から②の要件を充たす人であること。

但し、大学院生を含む若手研究者（申請の翌年の3月末現在、満42歳以下）に限る。

大学院生は、③の要件も必要である。

- ① 下記の研究機関に、当該研究機関の研究活動を行うことを職務に含む者として、所属する者であること。（有給・無給、常勤・非常勤、フルタイム・パートタイムの別を問わない。また、研究活動以外のものを主たる職務とする者も含む。）

- ② 当該研究機関の研究活動に実際に従事していること。(研究の補助は除く。)
- ③ 大学院生は、申請の研究課題を研究期間内、下記の研究機関において研究することのできる博士後期課程の学生に限る。

記

- 1. 大学及び大学共同利用機関
- 2. 高等専門学校

3. 選定の方法

別途定める審査委員会において選定を行う。

4. 申請の手続

申請の手続きは、別に定める研究助成金交付申請書（以下「申請書」という。）に従い申請を行う。

5. 助成金の交付方法

助成金の交付方法は、交付対象となる研究等が選定されたのちにおいて、その研究等の研究助成金交付申請書の内容に応じ、油空振が研究等の実施者と個別に協議してこれを定める。

交付した助成金については、研究等の目的の成功又は不成功にかかわらずその返還を求めない。

6. 研究成果等の帰属

研究等の実施過程において取得した工業所有権の実施権の許諾及びその条件については、研究等の成果を広く普及活用する観点から進めることとし、工業所有権は原則として援助・助成の場合は実施者に、委託研究の場合は協議の上その帰属を決定する。

7. 請書の提出

助成金の交付を受ける者は、次の事項を守る旨の請書を提出すること。

- (1) 研究等の実施は、あらかじめ油空振に提出した申請書に従って実施する。
- (2) 油空振から求められた場合は、一定の様式に従い実施状況の報告を行う。
- (3) 研究等の実施過程において申請書に変更を生じた場合は、油空振に報告し承認を受ける。
- (4) 研究が完成したときは、油空振に報告を行いその認定を受ける。
- (5) 申請書に従い研究等を実施しなかった場合は、その他交付の趣旨に反した行為を行った場合は、助成金の返還を行う。
- (6) 研究の実施過程において、製造された機器・機械・設備等の処分並びに取得した成果の帰属、普及及び活用の方法については、助成金交付の趣旨に

則り、実施者は油空振と協議してこれを処分する。

(7) 研究の実施者は帳簿を備え、研究等に要する費用に係る経理を他経理と明確に区分して記入し、その出納を明らかにする。

8. その他

申請者の提出先及び問合せ先

住所 〒533-0002 大阪市東淀川区北江口1丁目1番1号

名称 公益財団法人 油空圧機器技術振興財団

電話 06-6340-5885

Eメール zaidan@blue.ocn.ne.jp

当財団の詳しい情報はホームページをご覧ください。

<http://zaidan.taiyo-ltd.co.jp>